

令和4年
1月1日号
広報
No.684

あきる野

今号の主な記事

- あきる野フィルムコミッション…2面
- 令和4年あきる野市消防団出初式…4面
- 税理士による無料申告相談…4面



森っこサンちゃんと旧市倉家住宅

迎春

ふたりそろって
「森っこサンちゃん」
です

森っこサンちゃん 「環境都市あきる野」の実現に向けたあきる野市のイメージキャラクター

旧市倉家住宅 この建物は、市内に残る江戸時代末期からの養蚕農家で、保存状態の極めて良好な古民家です。地域の生業を後世に伝える歴史資料として高く評価されたことで、市指定有形文化財となり、あきる野市に寄贈されました。

住 所：五日市920-1(五日市郷土館内)

開館時間：午前9時30分～午後4時30分 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日が休館日) 年末年始(12月27日～1月4日)

入 館 料：無料

謹んで
新年のご挨拶を
申し上げます



市民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、東京都では1年の6割以上が緊急事態宣言期間であったため、様々な制約の中での生活を強いられました。昨年末には世界各地で新たな変異株の感染拡大が始まり、日本国内においても今後の動向が注目されております。明るい話題といたしましては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年越しで無事開催され、多くのドラマや感動が生まれました。

さて、2022年の干支は「壬寅(みずのえとら)」であります。「壬」には新しい命が生まれる、「寅」には発芽した芽が伸び始める時期という意味もあると言われています。

あきる野市にとって本年は、「第二次あきる野市総合計画」スタートの年であり、市民の皆様とともに数年かけて大切に育て上げてきた計画のもと、「いま」という時代に即した新たなまちづくり計画が始まっていく年でもあります。市では、豊かな自然環境と伝統的に育まれてきた人々の絆を生かし、活力あふれるまちを目指してまいりますので、市民の皆様には、自分たちのまことに一層の誇りと愛着をもっていただき、あきる野市をともに盛り上げていただけたら幸いです。

結びに、本年が新型コロナウイルス感染症に影響されない日常が戻ってくる年となり、市民の皆様にとって希望に満ちた一年の挨拶とさせていただきます。

あきる野市長 村木英幸